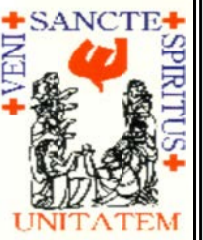


2014年5月11日 (第161号)
 発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
 〒760-0074 高松市桜町1-8-9
 TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
 Email
 教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
 広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
 生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
 WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/



カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉
 愛は、心の奥に埋もれたままにしておくことは許されません。
 ともし火は、灯して
 ますの下に置くのではなく、
 家の中のものすべてを照らすために燭台の上へ置くのです。

第3回 高松教区召命の集い 小学生から青年まで34人 「神の呼びかけ」を学ぶ



宋助祭の話に耳を傾ける

今年もまた召命の集いが開催され、小学2年生から青年まで34名が諏訪司教をはじめ多くのスタッフに支えられ、自らの召命について学ぶひと時が与えられた。

今回のスケジュールは、教区神学生が担当し、始めに、宋神学生による司祭召命についてのお話と「神学生・神父様との交流プログラム」として、日本カトリック神学院・東京と福岡キャンパスでの神学生の生活や学びの様子を映像で紹介したり、自らの召命のきっかけをムービーを交えながら紹介した。その後、参加者の緊張をほぐすレクリエーションタイムを持ち、ゲー



レクリエーション笑顔のご挨拶

ムの中でお互いを紹介し合いながら和気あいなりの雰囲気でのレクリエーションとなった。その後、NHK放送番組で放映された「クリスマス神学生の選任式と執

祭へと到達していきます。しかし、その途上にある朗読奉仕者は、単なる通過点としてそれほど重要にはみられない嫌いがあ

タルチルドレン」を鑑賞した後、グループに分かれて、「クリスタルチルドレン」の場面の歌詞から各々の心を捉えた「言葉」を選び、分かち合った上で、各々の祈りとしてボードに記した。昼食をはさみ、自由時間と班活動を持った後、午後は聖堂に移動しミサに与った。このミサに於いては、青少年のみならず一般信徒の方々も、高山神学生の選任式と執



奉納された祈りのボード

3月22日聖マルチン病院(坂出市) 帰天 1927年樺太で生まれ、51年



秦 笑子
 ホセフィーナ
 (聖ドミニコ宣教師修女会)
 シスターマリア

訃報

同会入会。54年初誓願、57年終生誓願宣立。初誓願後は修道院長・幼児教育者・養成担当者等、会や使徒職現場のリーダーとして活躍した。いつも微笑の人としてにこやかに人々と接し、賢明で機知に富んだ心豊かなシスターでした。晩年は周りの人々の温かい心遣いに「ありがとう!ありがとう!」とただただ感謝の日々でした。

式は午前に行われた高松教区召命の集い(関連記事掲載)に続き午後2時半から、諏訪榮治郎司教と司祭団による共同司式の中で荘厳に執り行われた。



朗読奉仕者任命を受けるヨゼフ神学生



着衣を受ける高山神学生

助祭・司祭候補者に認定された高山神学生は式を見守るご両親と家族の前でスータン着衣を受け、その喜びもひとしおの面持ちだった。

神さまの大きな恵みに感謝

私たちが今日まで司祭職への召命の道を歩むことが出来ました。心から感謝しています。そしてこの4月から神学科2年生

そのうちの五つが必須となっていて、それは、助祭・司祭候補者認定、朗読奉仕者選任、祭壇奉仕者選任、助祭叙階、司祭叙階です。

ト教に出会っていない人たちに救いの教えを知らせることとされています。すなわち朗読奉仕者とは典礼において上手に朗読をするだけの奉仕者ではなく、まさしく福音を告げ知らせ、教会の教えを伝えるために特に選任される重要な役割があるということです。

一人の努力だけではなく、共同体の支えがあってはじめて成り立つものです。司祭への道は共同体の皆さんの祈りの支えがあってこそ歩めるのです。

どうか、わたしたちのために続けてお祈りをお願い致します。

神学科2年生
 ヨゼフ・呉 文成

2月には、いつくしみ深い神様の恵みの中で、多くの皆さまのお祈りとご支援に支えられて、宋新助祭が誕生しました。

まず、第一点は、典礼して選任を受けることが出来るように願っています。

来年は、祭壇奉仕者として選任を受けることが出来るように願っています。

3月21日(金)高松教区司教座聖堂において教区神学生2名の朗読奉仕者選任式と助祭・司祭候補者認定式がおこなわれた。式には教区内外から司祭修道者、神学生の家族、信徒が参列し喜びを分かち合った。

聖ヨゼフ
 ゴーヴァン・タン(神学科2年)
 アンジの聖フランシスコ
 高山徹(哲学科2年)

になりました。勉強も少しだに難しくなっています。ですが、頑張るつもりです。

と朗読奉仕の任務について頂きたいと思えます。

司祭に叙階されるまでには七つの段階がありまして、現在教会においては

このたび朗読奉仕者として選任された私は、これから他の奉仕者と共に共同体の先頭に立って、福音の証しに取り組んでいく使命を持っています。

共同体の仲間たちが信仰を深めることが出来るように、先頭に立ってそれを導く役割を果たしたいです。

わたしたちは皆、若き日に高松教区の懐で福音に触れ、信仰共同体に呼ばれ、その宣教の場から修道召命への招きを感じました。そして、この信仰生活、奉献生活の歩みの大部分を、高松教区で苦業を共にしながら育んでいただきました。まさに、「ダイナミック・メモリー」ーわたしたちの内に刻まれた神さまと多くの皆さまの愛と交わりに心から感謝しております。この喜びと恵みを大切に、ともに祈る日々を重ねていきたいと思えます。

朗読奉仕者選任式 助祭・司祭候補者認定式

聖ヨゼフ
 ゴーヴァン・タン(神学科2年)
 アンジの聖フランシスコ
 高山徹(哲学科2年)

修道誓願宣立
金・銀祝 おめでとうございます
聖ドミニコ修道女会

わたしたちは皆、若き日に高松教区の懐で福音に触れ、信仰共同体に呼ばれ、その宣教の場から修道召命への招きを感じました。そして、この信仰生活、奉献生活の歩みの大部分を、高松教区で苦業を共にしながら育んでいただきました。まさに、「ダイナミック・メモリー」ーわたしたちの内に刻まれた神さまと多くの皆さまの愛と交わりに心から感謝しております。この喜びと恵みを大切に、ともに祈る日々を重ねていきたいと思えます。

金祝 Sr 白石 勝子
 金祝 Sr 三原 芙美江
 銀祝 Sr 宮武 信枝

はばたき
 一斉に突然パッと開花し驚かせた今年の桜も散って、新緑の気持ちの良い季節となった。

たまたま松山教会の70周年記念誌を手にした。戦後のある時期の信徒数の飛躍的な増加に驚いた。昭和23年から49年までの27年間の総受洗者数2293人、年平均では85人。昭和33年の年間受洗者数が189人と最も多く、100人を越える年がほかに8回もある。今では考えられない数字である。

記念誌ではその要因を①戦後の社会思想の変化②カトリック経営女学校の功績③神父さま、シスターの清い生活からの影響④教会の社会適応への動きなどをあげている。

戦後、人々は『どう生きるのか』を求めて教会を訪れた。カトリック経営の学校でのシスターたちの働きは生徒だけにどまらず親や兄弟、地域社会にまでキリストの光を広げる結果をもたらした。教会での神父さま方の清貧な生きざまにキリストを発見する人々もたくさんいた。

ここには日本の福音宣教の原点があるのではないかと、信託者が減る高松教区が今ここから学べるものは何かないのだろうか。溝部に学ばれ、この歴史に学び、これを成す手がかりがあるかもしれないのだ。

小教区紹介

鳴門教会 (徳島)

鳴門教会は四国の東端に位置し、すこし足を伸ばせば鳴門海峡を隔てて淡路島がかすんで見える。ことに今季節、渦潮で有名なわが街は大勢の観光客や四国遍路が訪れる天下の景勝地である。

併設しているため、教区や地区の行事の会場として利用される機会が多い。少人数の信徒で世話をするのは大変であるが、事あれば大同団結する伝統的な家族性と協力的体制は実にすばらしいものがある。



鳴門をキリスト教の街に

境のなかに育ったわが教会は独特の歴史を持ち、その草創期は今なお誇らかな郷愁をもって語り継がれている。戦後

まもない頃、画家津田季穂氏(後のオペレート会修道士)を囲む若者たちの集いが母体となり、やがて教会創設へと発展していった。

ご多分にもれず、わが教会でも高齢化がすすんでいる。日曜日のミサの出席者は決まった数の同じ顔ぶれであり、十年一日のごとき停滞感が拭えない。ただ近くに鳴門教育大学がある関係上、ときおり外国の研修生が訪れるのが新鮮である。さらに昨年より鳴門教会在住となったブラザー八木の存在が大きな刺激となっている。

なお当教会は幼稚園を



『典礼奉仕』のために (25)

「説教者、信徒も共にみことばに傾聴」

高松教区典礼委員長 レナト・フィリッピニ



会主日のミサです。いろいろなことばを伝えているかどうかが、ワイレスの電池などという準備と祭儀の中で、心から喜びをもってみことばと出会うことができるために、みことばの典礼に最大限の注意を払う必要がある。朗読される箇所と説教がはつきりと、よく聞こえるように、マイクが欠かせない道具です。マイクは機能しているかどうかによって行われるみことばの典礼に大きな影響を与えています。



朗読者と説教者にとってのみことばを伝えるために、会衆者にとっても、神のことばを聴くために、これに耳を傾けるための特別な優れた場は、典礼です。しかも、多くのキリスト信者にとって、みことばと出会う主な機会です。朗読者と説教者にとってのみことばを伝えるために、会衆者にとっても、神のことばを聴くために、これに耳を傾けるための特別な優れた場は、典礼です。しかも、多くのキリスト信者にとって、みことばと出会う主な機会です。

2007年11月5日から「聖書百週間」オリエンテーションでスタートし、配分表によれば約3年間位かかると言われていました。しかし2013年12月16日までの長丁場で終了するにいたりまして、6年余りの年月が経ち、聖書大学(?)大学院卒業と言うことになり、そして卒業時に、西川廣教授より終了証書が授与されました。

思えば1941年(72年前)12月8日、大東亜戦争に突入したとき私は10歳でした。日本は神国で敗れることは絶対にな

いと思うに、友が「バイブル(聖書)が判らなければ理解できないよ」との一言が脳裏から離れず、卒業後就職と同時にカトリック教会の門を叩きました。聖書の前に、公教要理をしまし、と神父様が仰って

「聖なる書」かと思いた人が「バイブル(聖書)が判らなければ理解できないよ」との一言が脳裏から離れず、卒業後就職と同時にカトリック教会の門を叩きました。聖書の前に、公教要理をしまし、と神父様が仰って

「聖なる書」かと思いた人が「バイブル(聖書)が判らなければ理解できないよ」との一言が脳裏から離れず、卒業後就職と同時にカトリック教会の門を叩きました。聖書の前に、公教要理をしまし、と神父様が仰って

〈全聖書読み終えて〉③

2007年11月5日から「聖書百週間」オリエンテーションでスタートし、配分表によれば約3年間位かかると言われていました。しかし2013年12月16日までの長丁場で終了するにいたりまして、6年余りの年月が経ち、聖書大学(?)大学院卒業と言うことになり、そして卒業時に、西川廣教授より終了証書が授与されました。

思えば1941年(72年前)12月8日、大東亜戦争に突入したとき私は10歳でした。日本は神国で敗れることは絶対にな

いと思うに、友が「バイブル(聖書)が判らなければ理解できないよ」との一言が脳裏から離れず、卒業後就職と同時にカトリック教会の門を叩きました。聖書の前に、公教要理をしまし、と神父様が仰って

「聖なる書」かと思いた人が「バイブル(聖書)が判らなければ理解できないよ」との一言が脳裏から離れず、卒業後就職と同時にカトリック教会の門を叩きました。聖書の前に、公教要理をしまし、と神父様が仰って

「聖なる書」かと思いた人が「バイブル(聖書)が判らなければ理解できないよ」との一言が脳裏から離れず、卒業後就職と同時にカトリック教会の門を叩きました。聖書の前に、公教要理をしまし、と神父様が仰って

神様の声「聴く」に気がつく

が唱えられ、喜ぶべきなのに戸惑い、日本の歴史に疑いを持つようになり、世相は焼け跡から復興を目指し、女学校では卒業に近づいた頃、勉強よりも世界文学全集等を読みあさりました。旧約は人名、地名が覚えにくい上に、これが

が唱えられ、喜ぶべきなのに戸惑い、日本の歴史に疑いを持つようになり、世相は焼け跡から復興を目指し、女学校では卒業に近づいた頃、勉強よりも世界文学全集等を読みあさりました。旧約は人名、地名が覚えにくい上に、これが

が唱えられ、喜ぶべきなのに戸惑い、日本の歴史に疑いを持つようになり、世相は焼け跡から復興を目指し、女学校では卒業に近づいた頃、勉強よりも世界文学全集等を読みあさりました。旧約は人名、地名が覚えにくい上に、これが

ちよつと ひびき

詩 微笑

秋風のように爽やかに
讚美歌のように美しく
ほくの心にしみた
風いだ海のように静かに
青い空のように眩しく
僕の心にしみた

それは北海道の自然の中で
神父様が笑っている
イエス様笑っている
どんな暗い心でも
明るくしてしまう微笑

4月8日(火)12時30分、まぶしく輝く太陽が降り注ぐ快晴日和の中、聖マルチン病院の新病院建築起工式が行われた。ドミニコ会司祭・井原彰一神父(カナダ管区)の司式により、建設工事発注元の聖ドミニコ宣教師修道女会日本管区長・Sr中山紀美子、設計と工事を担当する大成建設、建設関係相談役の弁護士事務所弁護士、他大勢のシスターや聖マルチン病院医師、看護師、職員多数が参列しての起工式となった。

喜びの新築起工式

坂出の新・聖マルチン病院

聖マルチン病院は昭和24年に開設され、以来60年以上経過し老朽化のため建物の新築がのぞまれる状況であった。計画段階において、都市計画・道路計画などにより制限を受けたため、現病棟より笠山側の敷地を利用し、3年がかりの新築工事となる。

完成予想図のように、新病院は7階建てのお洒落なたたずまいとなり、患者の方々にとっては新しい設備だけでなく、その眺望も快適な療養環境になると期待されている。

今後はますます高齢化に拍子がかかることも予想される中、新しく開設されるホスピス医療の充実と合わせて、高齢者への優しい医療と介護も並行して行い、退院後の生活まで考慮に入れた医療を見据えながら介護・在宅支援の体制も充実させていく。

新聖マルチン病院概要
現診療科を充実の上、病院本館は、総病床数は変更なく196床。



郵便現金振替口座
01690-9-0050549
名義: 坂出聖マルチン病院
通信欄に「建築献金」とご記入ください。
献金担当窓口
Sr. 山内・Sr. 合田

病棟編成が少々変更され、左記計画としている。
ホスピス(緩和ケア)病床20床、一般病床136床、医療療養病床40床
西側のケアセンターには、左記の機能が組み込まれる予定。
デイケア(通所リハビリ) 全日型(朝から夕方まで)
デイケア(通所リハビリ) 短時間型(2時間程度) 訪問リハビリ事業(理学療法士が在宅まで訪問する) 訪問介護事業(訪問ヘルパー) 居宅介護支援事業(ケアマネジメント)
・サービスピス付高齢者向け住宅21室
建設協力寄付は大歓迎
聖マルチン病院は建設協力献金を受け付けています。教区と地域のために医療福祉を通じた福音宣教を目指し充実させます。お祈りください。

若い力

カンボジアスタディーツアー 「ふれあい・ボランティア・学び」 高松教区・他教区から総勢12人参加

JLM(日本カトリック信託宣教師会)企画のカンボジア・スタディーツアーに、3月22日から31日まで参加しました。高松教区からは神学生3名、青年3名、プラザーの計7名、大阪教区からは司祭2名、青年2名の計4名、広島から青年1名の総勢12名でした。

ふれあい(現地の人々との出会い・交流)、ボランティア(子ども教育活動にボランティア参加)、学び(歴史と文化を学び、平和について考える)の三本柱を中心に、主な訪問地や活動は、プノンペンでの現地学生との交流、ゴミ集積場における衛生教育見学、ポルポト時代の刑務所やキリングフィールド見学、トンレサップ湖の水上集落(水上教会や水上学校訪問、地方の町(首都から200キロ)でのホームステイ、ポルポト政権による神父殉教地訪問、アンコールワット見学、戦争博物館見学、地方の村(首都から300キロ)での子ども教育プログラム見学等でした。

以下、日ごとのスケジュールに参加者のレポートで追ってみましょう。

3月23日(日) ミサ(プノンペンの学生たちと合流)マーケット・王宮など見学、学生寮にてスポーツ大会・ワークショップなど、学生寮にて夕食
番町教会 河合 幸

カンボジアで初の朝を 迎えた。ミサに与るため 生きたは私のつたない英語で街を走り教会へ。カ ンボジア人は朝が早く、 街はすでに活気に溢れて いた。多くのバイクや車 が走っている道路は無秩 序に近い状態で、私はた だただ唖然とするし かなかった。

言葉が違っていてもミサはミサだ。ギターや笛などの楽器と聖歌隊の美しい歌声。スタディーツアーの初日の朝一番にミサに与ることができ、喜びを感じた。プノンペンの学生たちとの交流はとて



学生交流会での阿波踊り

3月24日(月) プノンペン郊外にて、ゴミ集積場と隣接する村における衛生プログラム(母親センター視察)ババヘアイス(屋台)試食(トゥールスレン刑務所見学)キリング・フィールド見学
松山教会 深堀景應

私達はカンボジアの首 都プノンペンの郊外のごみ集積場へ向かった。その写真など生々しい負の遺産を目にした。人はどうしてこんなに残酷に刑務所、拷問を行いキリングフィールドにて大量虐殺をした場所などを訪れた。

人々がごみ拾いで生計を立てているごみ集積所ではJLMがここで暮らす人々を支援していた。子どもたちに識字教育を行ったり、屋台を提携したりなど現地の人々と寄り添って活動していた。



着ゴミ集積場近辺に住む子ども達

3月25日(火) コンボリアン(水上集落)へ移動(水上教会活動見学)子ども達と交流会(水上集落訪問)コンボリアン水上教会泊
桜町教会 渡邊信

午前9時頃、プノンペンに別れを告げて、トンレサップ湖の水上村に向けて出発。3時間ほど目的地のトンレサップ湖への入り口である船着き場に到着。そこからボートに乗って水上村へ向かった。10分ほどボートに揺られていると広大な湖にボツリと浮かぶ建物の集落が見えてきた。村の中

その後、水上村についての話、JLMのスタッフから伺ったあと、ボートに乗って水上村の周りを見学した。時刻はちょうど夕暮れ時だった。トンレサップ湖から見た夕日は本当に美しく、そしてまた教会へ戻りみんなで晩御飯を頂き水浴びをした。星空のもとみんなで語り合ったあと、それぞれ寝た。



水上集落から見た夕日

翌日午前中まで、それぞれの滞在先の家族の方々との交流のひと時を持ちました。1978年、当時のバタンバン教区の司教様が、クメール・ルージュに殺害された場所です。皆で祈りの時を持ちました。翌朝、周辺を散策すると、のどかな農村風景と荘厳な仏閣を目の当たりにしました。

午後からはバタンバンに向かいました。途中、その残酷さを包む愛も人々に感じられ、私達は心打たれられたと感じました。

私達は、お喋りや買い物、後グルーブに分かれ、ラチャナの従業員の方のお宅に泊めて頂きました。



ホストファミリーと

私たちは、バタンバンから、有名な観光地シェムリアップへ移動しました。ここにはユネスコの世界文化遺産に登録されたバイヨン寺院、アンコールワット、タ・プロムが

「カンボジアを旅するなら、アンコールワットを訪れないと、決してカンボジアに来たことにならない」と言っていたそうです。確かにその通りでした。何よりも、カンボジアで色々な体験をさせて頂いたことに感謝で一杯です。現地でも多くのカンボジア人に出会い交流することが出来ました。彼ら



アンコールワットにて

アンコールワットやその周辺の遺跡群を見学し、午後は戦争博物館へ行きました。博物館と野外にたくさん戦闘機、戦車、武器や地雷も展示されていて、実際に触ることが出来るようになっていました。

国全体が戦争に巻き込まれたカンボジアでは、今でもたくさんの地雷が敷設されたままで、その被害者、特に外で遊ぶ子どもたちの被害が絶たないようです。実際に戦地に向いていった男性が、その野外博物館のガイドをしてくれましたが、その彼自身の左足も地雷で無くし、



地雷を持つ戦争博物館ガイド

カンボジアでの体験について少し感じたこと、習プログラムとしては最も、教会を守って

ださった二人の老夫婦からタオム教会の歴史についてお話を聞きました。同じカンボジア人同士で殺したり、強制移住させたりした、カンボジアの悲しい歴史が教会に銃痕と共に残っていました。その中で教会を守った人々のために自分ができた老夫婦。もし、自分がその環境に置かれたらどうしたんだろう。

その後、子供たちと交流会をしたり、村に住んでいる人々の家を訪問したりしました。まだ、中学生ぐらいの若者たちが家族を養うために命をかけて、



タオム村の人々とその教会

主日のミサに与りました。洗礼式が行われていて、少し長く感じられました。今日は最終日。アンコールワットのあるシェムリアップは一大観光都市なので、お土産等の買い物に少し時間をとりました。そして、建物と庭がゆっくりと配置されているイエス会の黙想の家に行き、一同で旅の振り返りを行いました。旅の中で色々な体験を共有でき、その参加者の分ち合いはとて有意義なものでした。違った視点のとらえ方や新

カンボジアで体験したこと、習プログラムとしては最も、教会を守って



カンボジア伝統舞踊

医療のともしび (40) 最近の糖尿病事情

我が国の糖尿病人口は急速に増えています。この教区報の読者の中にも、自分自身または家族に関係のある方は 少なくないだろうと思っ...

最近、糖尿病治療薬で、インクレチン製剤という新薬が、次々と生まれてきています。剤形は内服も注射もあり、つまりインスリン以外の注射薬が、初めて登場したわけです。

- と付き合うこと。(これが大事。食事と運動療法が多少守れなくても、悲惨な結果には大抵なりません)
③必ず定期受診すること。大体の方は毎月。
④血糖検査を受けること。空腹時だけでなく食後1~2時間も測ること。
⑤同時にヘモグロビンエーワンシー (HbA1c) を必ず測ってもらう。6~7%に保つ
⑥検尿毎月 (腎症、膀胱炎腫瘍発見のため)
⑦薬が必要となれば、食べるなら、服薬または注射を忘れないこと。
⑧勉強が治療の始まりであること。
⑨合併症の検査を少なくとも 年1回。以上。



糖尿病は一生の病気。癖のある車を与えられたと思ひ、うまく乗りこなしてください。一生一台、買い替えなしのかけがえのない神様から頂いた大切な車ですからね。

聖マルチン病院 内科医 曾我部輝子

教区スケジュール

- 5月
1日 (木) 労働者聖ヨゼフ
3日 (土) 聖フィリポ、聖ヤコブ使徒 憲法記念日
4日 (日) 復活節第3主日
5日 (月) こどもの日
6日 (火) 振替休日
11日 (日) 復活節第4主日 母の日
13日 (火) 司祭集会inカタリナセミナーハウス (~14日)
17日 (土) 宣教司牧評議会役員会13:00 (~18日) 6人の司教と青年の集いin小林聖心
18日 (日) 復活節第5主日 ルルド祭in三本松
ロザリオの祈り 12:00 ミサ13:00 ミサ後懇親会
19日 (月) 西日本地区司祭・助祭親睦会in福岡
20日 (火) 田中英吉司教命日
25日 (日) 復活節第6主日 徳島教会信徒会館落成式
31日 (土) ~6・1 (日) 子供と中高生の集いin北条セミナーハウス
6月
1日 (日) 主の昇天 (祭)
3日 (火) 司祭評議会12:00~
8日 (日) 聖霊降臨の主日 (祭) 丸亀教会献堂式
10日 (火) 大阪教会管区司牧者研修会 (~12日)
15日 (日) 三位一体の主日 (祭) 聖歌合戦
19日 (木) 諏訪榮治郎司教祝聖記念
21日 (土) 宣教司牧評議会13:00
22日 (日) キリストの聖体 (祭)
23日 (月) 高松・広島教区司祭・助祭合同黙想会in宗像 (~28日)
29日 (日) 聖ペトロ・聖パウロ使徒 (祭) 使徒聖職献金

カトリック通信講座 カトリック通信講座

どなたでも、いつからでも、どの講座でも、ご自分のペースでご受講いただけます。

神・発見の手引

私たちに常に呼びかけている神について、人生、自然などの具体例や哲学者の言葉を通して考えます。全15講 受講料4500円

生きること・死ぬこと

現代社会の状況のなかで、「いのち」について考えます。健康と病気、産むこと、老いることなど。全10講 受講料5000円

*他の講座については、ホームページをご参照ください。

お申し込み方法

郵便局に備え付けの振替用紙にご希望の講座名をご記入の上、受講料を下記にお振込みください。入金確認後教材をお送り致します。振替口座番号: 00170-2-84745 加入者名: オリエンズ宗教研究所

お問い合わせ・お申し込み

オリエンズ宗教研究所 カトリック通信講座 〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5 Tel: 03-3322-7601 / Fax: 03-3325-5322 URL: http://www.oriens.or.jp 携帯サイト: http://www.oriens.or.jp/mobile/ ご希望の方にはパンフレットをお送りいたします。



被災者を追悼しキャンドルサービス

「東北物産フェア」では被災地の醤油、味噌、白だしのほか人参、ごぼうなどの乾燥野菜、被災者が製作したブックロウのストラップなど手芸品も並べられ、完売した。当日の募金は、道後教会が支援している宮城、福島、福島のボランティアグループなどの活動支援のために送られる。

T S C 便り

「3・11を忘れないために」道後教会では今年も3月16日(日)、東日本震災の被災者追悼ミサとコンサート、復興支援のための被災地物産フェアを行った。

聖堂で開催された追悼コンサートには約百人の聴衆が集まった。同教会を拠点に活動しているコーラスグループ「アンサンブル・ユビレーテ」が出演。スペインの作曲家ウィクトリアの「エレミアの哀歌」「死者のためのミサ曲(レクイエム)」

「東北へ届け」との願いを込めて、支援平和コンサート「祈りの調べ」を3月8日(土)カトリック桜町教会司教座聖堂で開催いたしました。この開催を知り、心にとめて下さった皆様、東北支援という一致の心をもって集まって下さったことに私達は心より感謝申し上げます。



レクイエムを歌う合唱団

「3・11」を忘れない 道後教会 追悼ミサコンサート

新刊書籍紹介

■教皇フランシスコ講話集

昨年3月31日の教皇就任以降、2013年内に行われた一般謁見講話、説教、お告げの祈り前の言葉などを集めた、教皇フランシスコの最初の講話集です。就任時の最初の祝福、就任ミサ説教、初のイタリア国外司牧訪問となり、世界中から集まった若者に熱烈な興奮をもって迎えられたワールド・ユースデー・リオデジャネイロ大会での説教や講話、信仰年閉年ミサ説教などを収録しています。教皇の優しさが前面に満ちた講話集となっております。著者: 教皇フランシスコ 編訳者: カトリック中央協議会秘書室研究企画 価格: 972円 (本体900円+税) 2014年4月14日発行

■ユスト高山右近 いま 降りていく人へ

ユスト高山右近 ときの権力者たちが一目置くほどの力を持ちながら、あえて降りていく道をとった戦国大名、高山右近。生涯を辿りながらキリシタンとしての生き方に迫る。各章に歴史的出来事、人物などを解説、右近を知るための必携書。もくじ: ユスト高山右近の列聖運動の今日的意義=大塚喜直 イエスを学ぶ右近=溝部脩 降りていく人たち 1、初めに神は 2、選びの器 3、呻きの中で 4、教会の柱石 伴天連の大旦那 5、愚か者のように6、右近の信仰と茶の湯 7、降りていく人へ 著者: 古巣馨 監修: カトリック司教協議会列聖列福特別委員会 新書版変形判 205頁 定価(本体756円+税) ドン・ボスコ社



マリimba演奏に聞き入る参加者

お知らせ: 支援先はこれまで大船渡のみに限定していましたが、小教区独自の支援先の選択は自由です。

TSC 高松教区サポートセンター 東日本大震災大船渡支援 献金入金報告 (含お米券) 2・3・4月分579,420円 (内ワンコイン171,376円) 累計14,334,222円



神を観想し、その実りを人々に伝えよ 聖ドミニコ宣教修道女会

復初 復活節の陽射しの中、 像がつかれて見えています。 増え執り行われたい機会が 増え執り行われたい機会が 増え執り行われたい機会が...

医療法人社団聖心会 阪本病院
整形外科・脳神経外科・泌尿器科
皮膚科・外科・消化器外科
産科・小児科・形成外科
呼吸器科・呼吸器内科・内科
リウマチ科・放射線科・リハビリテーション科・麻酔科
〒769-2602
香川県高松市川東103-1
☎0879-25-1121 (代)
http://www.sakamoto-hosp.or.jp/

私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう
暁の星学園
鳴門聖母幼稚園 高知聖母幼稚園
阿南聖母幼稚園 海の星幼稚園